

事業名称	国際女性フェスタはりま 2022
団体名・代表者	国際女性フェスタはりま実行委員会 実行委員会 今里朱美
協働の相手方	市民局市民参画部男女共同参画推進課

目的	<p>目的</p> <p>女性が輝く社会の実現と、地域活性化を目指し、すべての女性が豊かな人生を送るべく、家庭のみならず職場でも女性の生き方を男女ともに考える機会を創出し、女性の活躍を推進する</p>
内容	<p>昨年度に引き続き、国際女性デーイベントの4回目の開催。 新型コロナウイルスで「まん防」が延長されたが、感染対策を万全に行い、150名定員の部屋で50名定員のイベントとオンライン配信のハイブリッドでセミナーを行った。 普及啓発事業では、飲食店で国際女性デーのテーマカラーの「ミモザ色」メニューを提供していただいたところ今年は21店舗が参加した。大手前通りのタペストリーのほか、アクリエひめじもミモザ色にライトアップされるなど、確実に知名度は上がっていると感じた。引き続き、地道ながらも活動を続け、SDGsとも併せて意識の向上に努めたい。</p> <p>①啓発事業</p> <p>&lt;1&gt;大手前通りでのタペストリー掲出 大手前通りの該当へのタペストリー掲出を行った。 期間 3月1日から3月15日までの1カ月 枚数 86枚</p> <p>&lt;2&gt;アクリエひめじでのライトアップ ミモザカラーライトアップアクリエひめじの外観をミモザカラーでライトアップを実施した。 期間 3月6日から8日</p> <p>&lt;3&gt;飲食店でのオリジナルメニューの提供 当委員会の趣旨に賛同いただいた市内飲食店21店舗により、国際女性デーオリジナルメニューを開発、提供をいただいた。</p> <p>&lt;4&gt;イベント 開催日 2022年3月6日（日）13時から16時半 場所 ビズスペース姫路〈姫路市本町127番地ダイネンビルⅡ〉 参加者数 参加者42名 参加者32名 実行委員会10名 基調講演 上田理恵子さん〈株式会社マザーネット〉 分科会 「仕事と子育て」「ダブルワーク」など、昨今の働き方をテーマに5つの分科会を作りセッションを行った。</p>  
事業経過	<p>7月より実行委員会を開始。コロナ禍に配慮し、オンラインとリアルと両方の場合を考えて計画した。緊急事態宣言下においては、どちらもできないことを想定に、啓発活動にも注力し、アクリエひめじのライトアップや、タペストリーの掲示、協賛レストランを増やすなどした。</p>

事業の効果	仕事をしたくても離職をせざるを得ない子育て中の女性や、ダブルワークの働き方の必要性、それらの制度を変える場（議場）に女性など、女性にとって重要な課題を考える場になった。
今後の展望	これらの意見が市政に届くようにする方法はないか、今後検討を重ねたい。

**【実施団体の事業総括・感想等】**

<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍での開催は、会議の日程調整にも苦労があった。イベント実施も計画から変更をせざるを得ない。これらの変更について柔軟な対応を願いたい。</li><li>・経費支払いについて、カード払いなどは一律 2%カットを要綱などで事前に告知していただきたい。ポイント付加されるためにその分を差し引くという考え方は理解できるが、「一律で 2%」の判断基準が理解しかねる。</li></ul>
---

**【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください**

<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍での開催となったが、開催方法をハイブリッドにされたり、PR に努められ参加者を募ることに成功された。</li><li>・今後とも、男女共同参画やSDG s に関する啓発活動を続け、市民意識の向上に努められたい。</li></ul>
--